

第11回 大学の若手研究者ショートプレゼン&交流会

～KOBEアカデミックトーク～

地域とつながる教育デザインー ICTと自然環境を活かした防災・環境教育

9月25日(木) 18:30～20:00

開催概要

(一社) 大学都市神戸産官学プラットフォームでは、大学研究をもっと身近に感じていただけるよう、参画大学の研究者によるプレゼンテーションと対話の場「KOBEアカデミックトーク」を開催しています。

第11回は、神戸常盤大学より田中達也さんと深川幹さんをお迎えし、ICTや自然環境を活かした防災・環境教育の実践を通じて、地域とつながる学びの可能性を探ります。

地域と大学が連携して進める教育の取り組みは、子どもたちの命を守る力や環境への意識を育むとともに、地域社会の持続的な発展を支える重要な基盤となります。本プログラムは、教育・人材育成・地域との連携に関心のある皆さまにとって、地域課題の理解や社会的価値の創出につながるヒントを得られる貴重な機会です。多様な視点が交わる対話の場で、未来の社会のあり方を一緒に考えてみませんか。

【日時】

9月25日(木) 18:30～20:00

(受付18:00～)

【会場】

KOBE Co CREATION CENTER
(センタープラザ9階)

【対象】

テーマに関心のある企業・事業者・
学生・自治体職員・市民の皆さま

【定員】

30名程度 (事前申し込み必要)

参加申し込みはこちら
事前申込制 (先着順)
※締切：9月23日(火)



プレゼンター

ファシリテーター



たなか たつや

田中 達也

神戸常盤大学
教育学部こども教育学科 講師



ふかがわ もとき

深川 幹

神戸常盤大学
教育学部こども教育学科 講師



みやがわ じゅん

宮川 潤

MIRACLE SCIENCE INNOVATION (株)
代表取締役CEO
大阪公立大学 研究推進機構 特任教授
(一財) 未来医療推進機構 理事長補佐

「地域とつながる教育デザインーICTと自然環境を活かした防災・環境教育」

プレゼンター

プロフィール



たなか たつや

田中 達也

神戸常盤大学
教育学部こども教育学科 講師

神戸常盤大学教育学部こども教育学科講師。専門は理科教育と防災教育。科学的探究やアーギュメント、ICT機器の活用を取り入れ、子どもたちが「科学的に考える力」と「自ら判断して行動する力」を育む授業づくりに取り組んでおられます。とりわけ防災教育では、ウェアラブルカメラやゲーミフィケーション（非ゲーム的な場面にゲームの仕組みを応用する手法）を活用し、子どもたちが科学的な視点で災害を捉え、自ら考え行動できる力を育むプログラムを開発されてきました。こうした実践は高く評価され、日本科学教育学会奨励賞、日本理科教育学会研究奨励賞を受賞されています。

プレゼンテーマ

「防災教育におけるICT活用の可能性：判断力と自己効力感を育む学習デザイン」
大きな災害はいつどこで起こるかわかりません。子どもたちが自ら判断し、自分や周りの命を守るようになるためには、日ごろからの「考える防災教育」が欠かせません。そこで、子どもが災害時に自ら判断し、命を守る力を育むことを目指し、ICTやゲーミフィケーションを活用した防災教育プログラムの開発と実践に取り組んでいます。今回の発表では、ICTを活用することで、どのように子どもの防災意識や自己効力感（自分ならできるという感覚）、判断力を育むことができるのか、その構造や教育的な効果の可能性をわかりやすくお話しします。

プロフィール



ふかがわ もとき

深川 幹

神戸常盤大学
教育学部こども教育学科 講師

神戸常盤大学教育学部こども教育学科講師。ニホンジカの研究や高校教員としての実践経験を経て、現在は大学で環境教育や保育者・教員養成を担当されています。大学が保有する森林や地域の自然を活用し、子どもたちに自然の魅力を伝えられる教育者の育成に力を注いでおられます。また、外来種問題など身近な環境課題を題材に「社会的ジレンマ」（正解が一つに決められない課題）を取り入れ、子どもたちが話し合いながら合意を形成していく力を育む教育プログラムの開発にも取り組んでおられます。

プレゼンテーマ

「身近な自然を活かした環境教育法の開発-子どもとともに学ぶ持続可能な未来-」
身近な森林や川、公園など、地域の自然は子どもたちにとって最高の学びのフィールドです。私は、大学が保有する森林や地域の自然を教材化し、外来種問題など身近な課題を子どもと一緒に探究する教育手法を実践してきました。授業では「どうすれば地域の自然を守れるか?」といった問いを対話で深め、子どもたちが合意をつくりあげる力を育てています。今回の発表では、自然の中での体験が子どもの感性や科学的思考をどう育むのか、また環境教育が地域や社会につながる可能性について紹介します。身近な自然を活かした学びのヒントが見つかると思います。

ファシリテーター



参加申込はこちらから
事前申込制（先着順）
締切：9月23日(火)

プロフィール

三井住友銀行にて、20年超電機・通信・メディア・IT業界を担当。国内外の様々な案件を手掛ける。
2021年2月より、関西圏のスタートアップエコシステム構築、産官学連携、オープンイノベーションを担当。2023年4月より独立。
2023年11月、SUNDRED（株）取締役CFOに就任。新産業共創、地域における産業作りとしてリビングラボに尽力。2024年3月、大阪大学名誉教授 澤芳樹氏をエグゼクティブアドバイザーとするMIRACLE SCIENCE INNOVATION（株）を設立し、代表取締役CEOに就任。NakanoshimaQrossを舞台にライフサイエンス・ヘルスケア領域のインキュベーション事業をスタート。



みやがわ じゅん

宮川 潤

MIRACLE SCIENCE INNOVATION（株）
代表取締役CEO
大阪公立大学 研究推進機構 特任教授
（一財）未来医療推進機構 理事長補佐